

## 4. 調査結果

### 4.1. アンケート集計結果

#### (1) 一般対象

##### 【意識編】

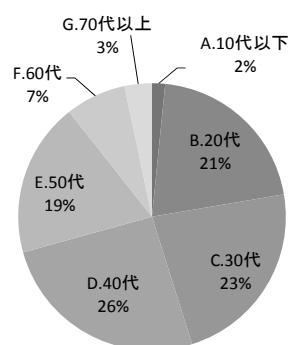
問1. あなたについてお尋ねします。以下の情報について選択・記入してください。

アンケート回答総数 1,520 に対して、同設問の回答者数は 1,515 であった。属性情報としては、以下の通り。

- ・年齢：40代が最も多く 26%、次いで 30代 23%、20代 21%。比較的若い層の回答割合が高い。組織を經由してアンケート回答を依頼していることから、現役世代の割合が高くなっていると考えられる。
- ・世帯人数：4人が最も多く 29%、次いで 3人 22%、2人 18%。年齢構成と併せて考えると、未就学の子供を持つ子育て世代の回答割合が高いと考えられる。
- ・性別：男性 68%、女性 32%。男性が 2/3 近くを占めている。
- ・木曾とのかかわり：木曾が出身の人は全体の 2%。また木曾出身の友達がいる人は全体の 15%。人的に木曾と強いつながりを持つ割合はそれほど高くないといえる。

問1. あなたについてお尋ねします。以下の情報について選択・記入してください。(年齢)n=1,515

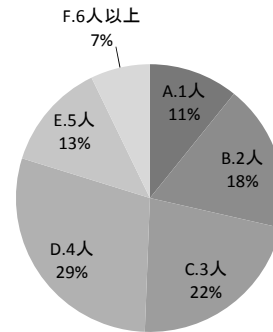
○年齢	回答数	%
A.10代以下	24	2%
B.20代	314	21%
C.30代	346	23%
D.40代	387	26%
E.50代	283	19%
F.60代	111	7%
G.70代以上	50	3%
有効回答	1,515	100%
無回答など	5	
全体	1,520	



問1. あなたについてお尋ねします。以下の情報について選択・記入してください。(世帯人数)  
n=1,446

○世帯人数

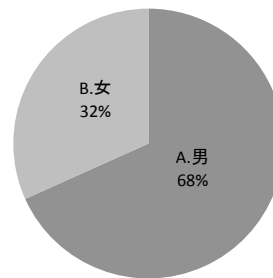
	回答数	%
A.1人	156	11%
B.2人	257	18%
C.3人	319	22%
D.4人	422	29%
E.5人	188	13%
F.6人以上	104	7%
有効回答	1,446	100%
無回答など	74	
全体	1,520	



問1. あなたについてお尋ねします。以下の情報について選択・記入してください。(性別)n=1,484

○性別

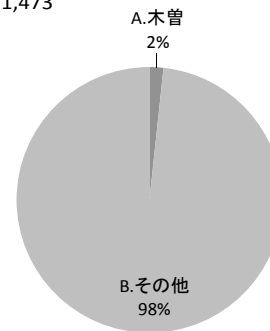
	回答数	%
A.男	1013	68%
B.女	471	32%
有効回答	1,484	100%
無回答など	36	
全体	1,520	



問1. あなたについてお尋ねします。以下の情報について選択・記入してください。(出身地)  
n=1,473

○出身地

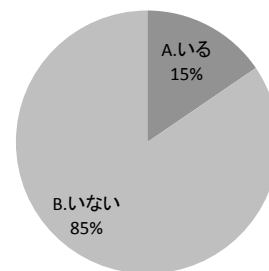
	回答数	%
A.木曾	25	2%
B.その他	1448	98%
有効回答	1,473	100%
無回答など	47	
全体	1,520	



問1. あなたについてお尋ねします。以下の情報について選択・記入してください。(木曾出身の友人の有無) n=1,389

○木曾出身の友人の有無

	回答数	%
A.いる	215	15%
B.いない	1174	85%
有効回答	1,389	100%
無回答など	131	
全体	1,520	



## 問 2. ～問 7.

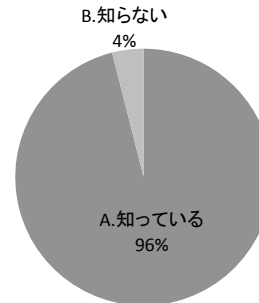
上流域に位置する木曽と、下流域に位置するアンケート回答者の居住地との関係性を明らかにするために設定した質問は、**総じて高い認知度**であった。

- ・問 2. : 「水は川から来ている」 ことについて 96%が「知っている」と回答。
- ・問 3. : 「お米や野菜を育てる水は川から来ている」 ことについて 97%が「知っている」と回答。
- ・問 4. : 「工場が使う水は川から来ている」 ことについて 91%が「知っている」と回答。
- ・問 5. : 「あなたの住んでいる地域に水を供給する川」 について 87%が「知っている」と回答
- ・問 6. : 「川の水源が山と森であること」 について 96%が「知っている」と回答
- ・問 7. : 「山と森が空気をきれいにして、あなたの地域に供給していること」 について 92%が「知っている」と回答
- ・問 8. : 「上流域では野菜などが栽培され、あなたの地域に食材として提供されていること」 について 84 %が「知っている」と回答
- ・問 9. : 「上流域の森が都市を土砂災害などから守っていること」 について 87%が「知っている」と回答

## 問 2. あなたの普段使っている水は川から来ていることをご存知ですか？

問2. あなたの普段使っている水は川から来ていることをご存知ですか？ n=1,515

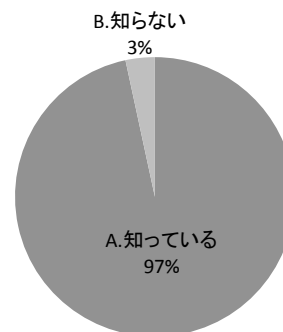
	回答数	%
A.知っている	1455	96%
B.知らない	60	4%
有効回答	1,515	100%
無回答など	5	
全体	1,520	



## 問 3. お米や野菜を育てる水は川から来ていることをご存知ですか？

問3. お米や野菜を育てる水は川から来ていることをご存知ですか？ n=1,516

	回答数	%
A.知っている	1465	97%
B.知らない	51	3%
有効回答	1,516	100%
無回答など	4	
全体	1,520	

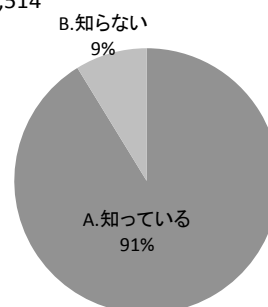


問 4. 工業が盛んである愛知県の工場が使う水も川から来ていることをご存知ですか？

問4. 工業が盛んである愛知県の工場が使う水も川から来ていることをご存知ですか？

n=1,514

	回答数	%
A.知っている	1381	91%
B.知らない	133	9%
有効回答	1,514	100%
無回答など	6	
全体	1,520	

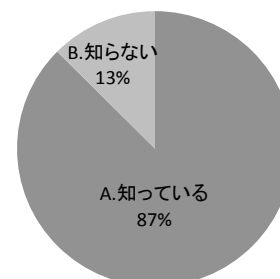


問 5. あなたの住んでいる地域に水を供給する川をご存知ですか？

問5. あなたの住んでいる地域に水を供給する川をご存知ですか？

n=1,516

	回答数	%
A.知っている	1326	87%
B.知らない	190	13%
有効回答	1,516	100%
無回答など	4	
全体	1,520	

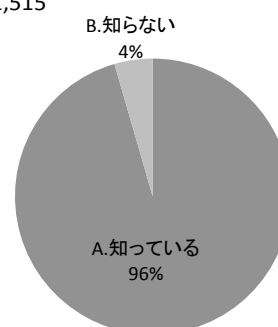


問 6. 上流域には山と森がたくさんあります。川の水源が山と森であることをご存知ですか？

問6. 上流域には山と森がたくさんあります。川の水源が山と森であることをご存知ですか？

n=1,515

	回答数	%
A.知っている	1447	96%
B.知らない	68	4%
有効回答	1,515	100%
無回答など	5	
全体	1,520	

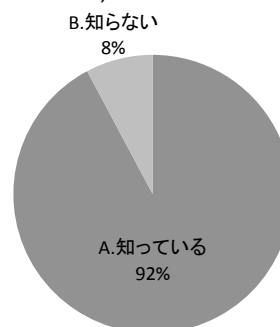




問7. 水のほかに、山と森が空気をきれいにして、あなたの地域に供給していることをご存知ですか？

問7. 水のほかに、山と森が空気をきれいにして、あなたの地域に供給していることをご存知ですか？ n=1,514

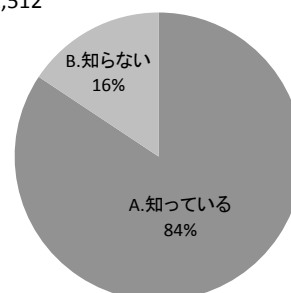
	回答数	%
A.知っている	1396	92%
B.知らない	118	8%
有効回答	1,514	100%
無回答など	6	
全体	1,520	



問8. 上流域では、豊かな自然環境の中で野菜などが栽培され、あなたの地域においしい食材として提供されていることをご存知ですか？

問8. 上流域では、豊かな自然環境の中で野菜などが栽培され、あなたの地域においしい食材として提供されていることをご存知ですか？ n=1,512

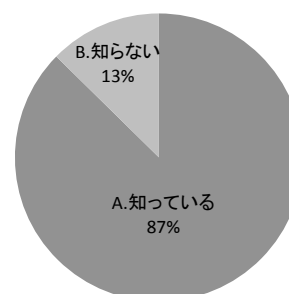
	回答数	%
A.知っている	1275	84%
B.知らない	237	16%
有効回答	1,512	100%
無回答など	8	
全体	1,520	



問9. また、上流域の森が都市を土砂災害などから守っていることをご存知ですか？

問9. また、上流域の森が都市を土砂災害などから守っていることをご存知ですか？ n=1,513

	回答数	%
A.知っている	1322	87%
B.知らない	191	13%
有効回答	1,513	100%
無回答など	7	
全体	1,520	

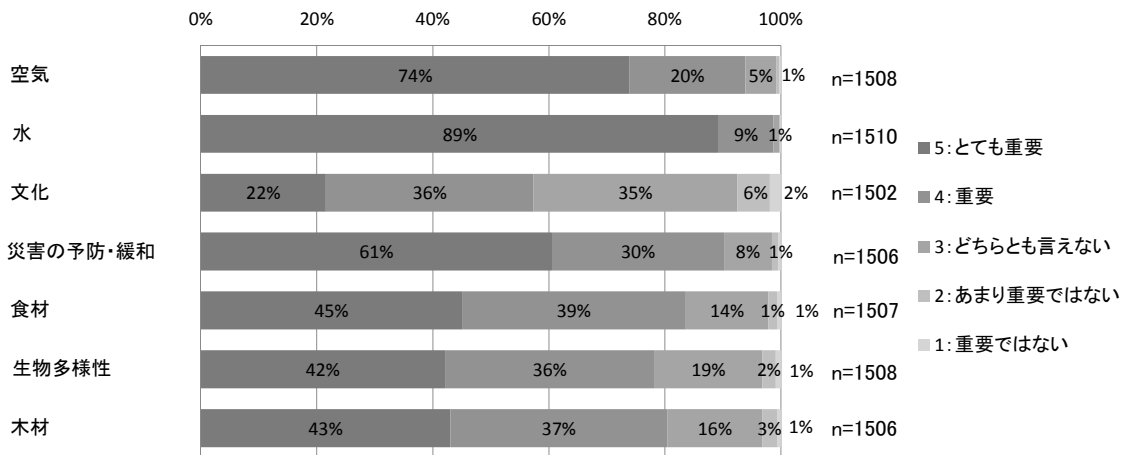


問 10. そのほかにも、上流域とあなたの住んでいる地域は多様なつながりを持っています。上流域の持つ資源のあなたにとっての重要度について、1～5の中から一つ選んでください。

アンケート回答者にとっての上流域の持つ資源の重要度（「とても重要」の割合）は、高い順に、水（89%）、空気（74%）、災害の予知・緩和（61%）、食材（45%）、木材（43%）、生物多様性（42%）、文化（22%）となっている。直接的な生存に関わる、水、空気、災害といった項目の重要性が高くなっている。

		回答数	%
空気	5:とても重要	1,115	74%
	4:重要	301	20%
	3:どちらとも言えない	80	5%
	2:あまり重要ではない	8	1%
	1:重要ではない	4	0%
	有効回答	1,508	100%
	無回答など	12	
水	5:とても重要	1,349	89%
	4:重要	141	9%
	3:どちらとも言えない	17	1%
	2:あまり重要ではない	1	0%
	1:重要ではない	2	0%
	有効回答	1,510	100%
	無回答など	10	
文化	5:とても重要	324	22%
	4:重要	538	36%
	3:どちらとも言えない	528	35%
	2:あまり重要ではない	84	6%
	1:重要ではない	28	2%
	有効回答	1,502	100%
	無回答など	18	
災害の予知・緩和	5:とても重要	912	61%
	4:重要	447	30%
	3:どちらとも言えない	124	8%
	2:あまり重要ではない	17	1%
	1:重要ではない	6	0%
	有効回答	1,506	100%
	無回答など	14	
食材	5:とても重要	679	45%
	4:重要	581	39%
	3:どちらとも言えない	215	14%
	2:あまり重要ではない	22	1%
	1:重要ではない	10	1%
	有効回答	1,507	100%
	無回答など	13	
生物多様性	5:とても重要	635	42%
	4:重要	545	36%
	3:どちらとも言えない	280	19%
	2:あまり重要ではない	35	2%
	1:重要ではない	13	1%
	有効回答	1,508	100%
	無回答など	12	
木材	5:とても重要	648	43%
	4:重要	564	37%
	3:どちらとも言えない	246	16%
	2:あまり重要ではない	38	3%
	1:重要ではない	10	1%
	有効回答	1,506	100%
	無回答など	14	
全体		1,520	

問10. そのほかにも図表1のように、上流域とあなたの住んでいる地域は多様なつながりを持っています。上流域の持つ資源のあなたにとっての重要度について、1～5の中から一つ選んでください。

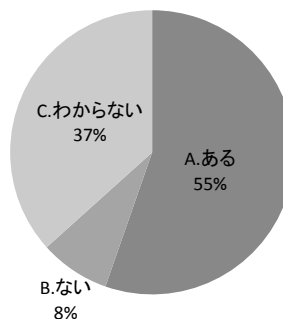


問 11. あなたは、上流域として認識しているエリアはありますか？

上流域として認識しているエリアがある人は全体の 55%、ない人は 8%である。

問11. あなたは、上流域として認識しているエリアはありますか？ n=1,386

	回答数	%
A.ある	767	55%
B.ない	111	8%
C.わからない	508	37%
有効回答	1,386	100%
無回答など	134	
全体	1,520	

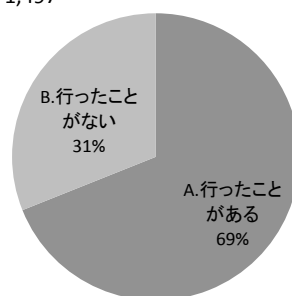


問 12. あなたは木曽に行ったことがありますか？あてはまるものを一つ選んでください。

木曽に行ったことがある人は全体の 69%と **7割近くの人が木曽に行ったことがある。**

問12. あなたは木曽に行ったことがありますか？あてはまるものを一つ選んでください。  
n=1,497

	回答数	%
A.行ったことがある	1032	69%
B.行ったことがない	465	31%
有効回答	1,497	100%
無回答など	23	
全体	1,520	

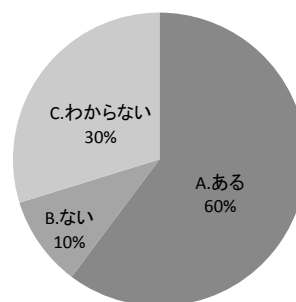


問 13. 問 12. で「行ったことがある」を選んだ方にお尋ねします。もう一度行きたい場所やお気に入りの場所がありますか？

木曽に行ったことがある人 (n=880) の中で、**もう一度行きたい場所・お気に入りの場所がある人は 60%**である。

問13. 問12. で「行ったことがある」を選んだ方にお尋ねします。もう一度行きたい場所やお気に入りの場所がありますか？ n=880

	回答数	%
A.ある	530	60%
B.ない	88	10%
C.わからない	262	30%
有効回答	880	100%
無回答など	152	
全体	1,032	

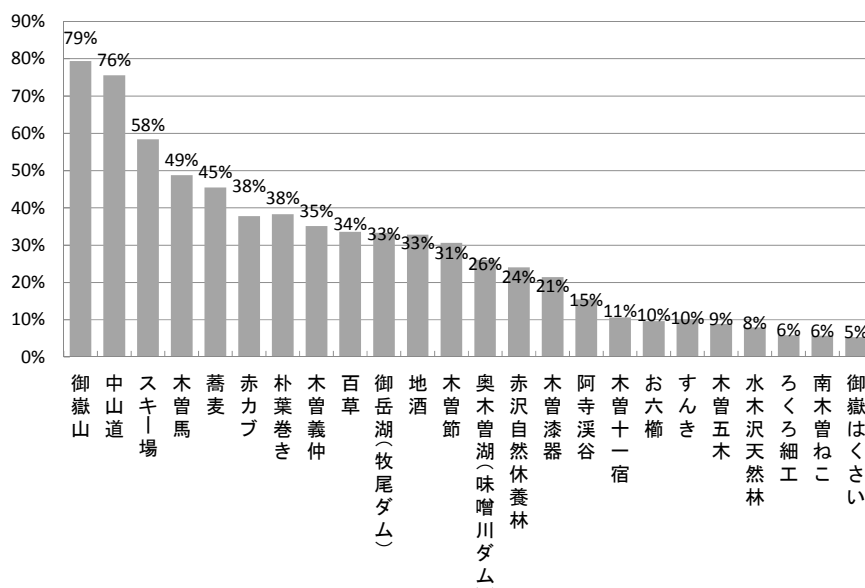


問 14. あなたは以下の木曾のことをご存知ですか？ご存知のものを選んでください。（複数可）

木曾にゆかりのあるものの認知度が過半数を超えているのは、「御嶽山」（79%）、「中山道」（76%）、「スキー場」（58%）。  
 「木曾節」（31%）や「すんき」（10%）の認知度が低いなど、木曾が持つ資源が十分に知られていないことがうかがえる。

	回答数	%
御嶽山	1207	79%
中山道	1149	76%
スキー場	888	58%
木曾馬	742	49%
蕎麦	691	45%
赤カブ	574	38%
朴葉巻き	582	38%
木曾義仲	534	35%
百草	511	34%
御岳湖(牧尾ダム)	507	33%
地酒	499	33%
木曾節	465	31%
奥木曾湖(味噌川ダム)	397	26%
赤沢自然休養林	366	24%
木曾漆器	326	21%
阿寺溪谷	235	15%
木曾十一宿	162	11%
お六櫛	146	10%
すんき	152	10%
木曾五木	136	9%
水木沢天然林	121	8%
ろくろ細工	89	6%
南木曾ねこ	87	6%
御嶽はくさい	81	5%
全体	1,520	100%

問14. あなたは以下の木曾のことをご存知ですか？ご存知のものを選んでください。  
 （複数可）n=1,520

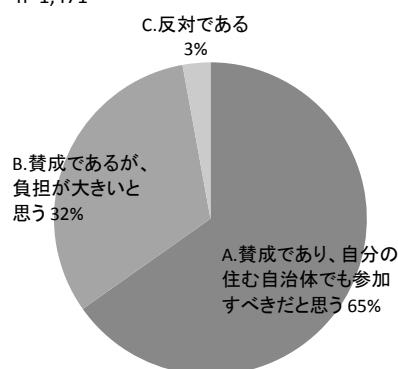


問 15. 愛知中部水道企業団は「水道水源環境保全基金」を通して、水道使用量 1m<sup>3</sup> あたり 1 円を基金積立して、積み立てたお金をダム周辺の水源涵養などの森林整備・水源保全に活用しています。あなたは、このような寄付金活動についてどう思いますか？あてはまるものを一つ選んでください。

水源基金の取組について、賛成の割合が 97% とほぼ全数。また賛成かつ自分の住む自治体でも参加すべきという人の割合は 65%。

問15. あなたは、寄付金活動についてどう思いますか？あてはまるものを一つ選んでください。  
n=1,471

	回答数	%
A.賛成であり、自分の住む自治体でも参加すべきだと思う	959	65%
B.賛成であるが、負担が大きと思う	470	32%
C.反対である	42	3%
有効回答	1,471	100%
無回答など	49	
全体	1,520	

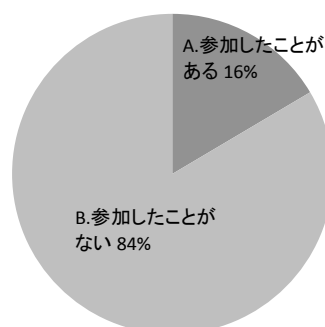


問 16. あなたは木曾への貢献活動（ボランティア活動、交流イベントなど）に参加したことがありますか？あてはまるものを一つ選んでください。

木曾への貢献活動に参加した人の割合は 16%。  
活動参加内容は、「イベント」（51%）、「ボランティア活動」（37%）。

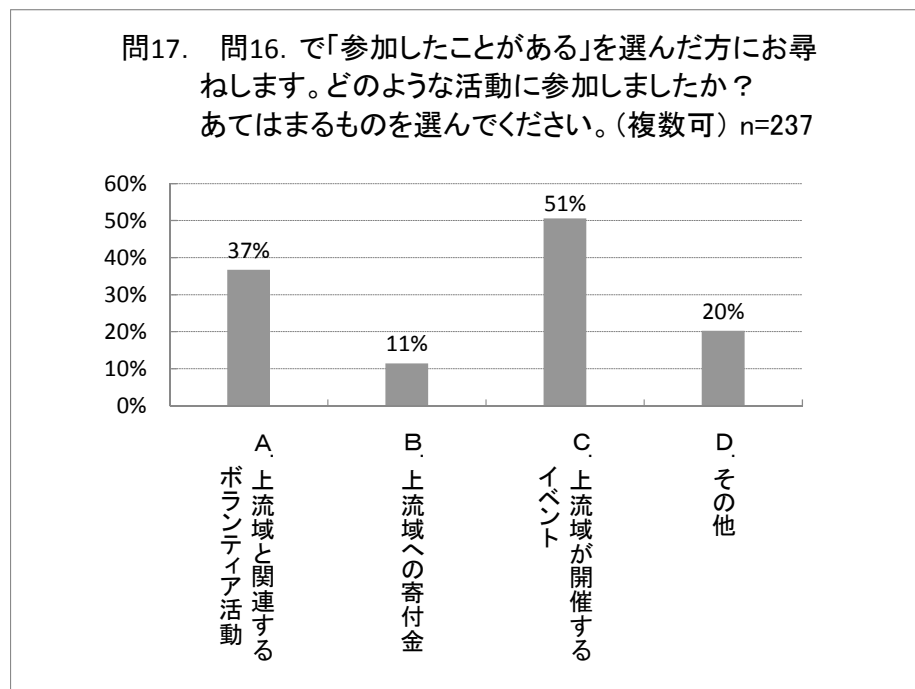
問16. あなたは木曾への貢献活動(ボランティア活動、交流イベントなど)に参加したことがありますか？あてはまるものを一つ選んでください。 n=1,511

	回答数	%
A.参加したことがある	249	16%
B.参加したことがない	1262	84%
有効回答	1,511	100%
無回答など	9	
全体	1,520	



問 17. 問 16. で「参加したことがある」を選んだ方にお尋ねします。どのような活動に参加しましたか？あてはまるものを選んでください。(複数可)

	回答数	%
A.上流域と関連するボランティア活動	87	37%
B.上流域への寄付金	27	11%
C.上流域が開催するイベント	120	51%
D.その他	48	20%
有効回答	237	100%
無回答など	12	
全体	249	



<記述>

■水源林保全関連

水源林保全・水源林保全体験研修 7件
上流域の森林の間伐作業
間伐体験
森林体験のお手伝い
植樹体験、間伐体験
研修で木祖村の樹木の枝打ちなどに従事
木祖村の枝打ち体験
研修、木片チップ撒き
大桑村 育樹祭
ひのき？杉？の植樹
植林
合同育樹祭
名古屋市民の森づくり
水源地の視察

■研修・交流事業

上下水道局主催の研修
職場の研修
研修
勤務先の厚生会主催の上下流交流事業
名古屋市上下水道局とのイベント
名古屋市の関係する上下流交流イベント
当局開催の交流イベント
当局主催のイベント
愛知用水のイベント
下流域が開催するイベント
水害ボランティア 南木曽
南木曽でのボランティア団体と長久手市の団体の交流
市民団体主催の上流ツアー
木曽川流域と水の循環システム協議会体感ツアー(3回)
上下流交流を兼ねるスキー旅行・福利厚生旅行
東郷町民スキー

■学校関連

中学校の交流学习
小学校の出前授業

■寄付

上流域への寄付
売上の一部が寄付になるという商品の買いもの

■その他

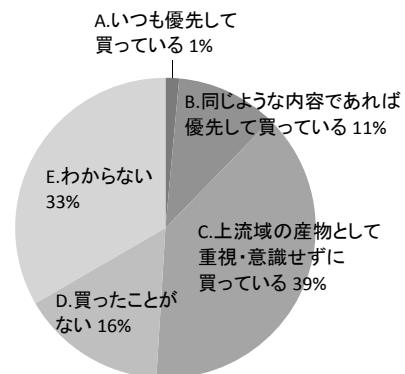
物品販売
------

問 18. あなたは普段木曽の産物（上流域の材料を使ったもの、上流域で作られたもの）を買っていますか？あてはまるものを一つ選んでください。

普段木曽の産物を買っているかどうかについては、「重視・意識せずを買っている」(39%)、「わからない」(33%)との意見が大半。  
一方で、「同じような内容であれば優先して買う」というサポーターも 11%を占めている。

問18. あなたは普段木曽の産物(上流域の材料を使ったもの、上流域で作られたもの)を買っていますか？あてはまるものを一つ選んでください。n=1,505

	回答数	%
A.いつも優先して買っている	22	1%
B.同じような内容であれば優先して買っている	163	11%
C.上流域の産物として重視・意識せずを買っている	582	39%
D.買ったことがない	236	16%
E.わからない	502	33%
有効回答	1,505	100%
無回答など	15	
全体	1,520	



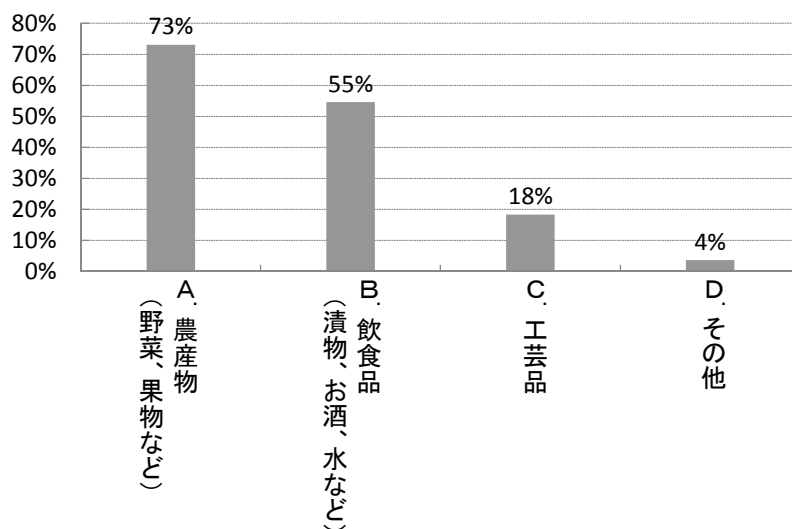


問19. 問18. で「いつも優先して買っている」、「同じような内容であれば優先して買っている」または「上流域の産物として重視・意識せずを買っている」を選んだ方にお尋ねします。何を買っていますか？ あてはまるものを選んでください。(複数可)

普段買っている木曾の産物は、食料品（農産物、飲食品）が大半。

	回答数	%
A.農産物(野菜、果物など)	527	73%
B.飲食品(漬物、お酒、水など)	394	55%
C.工芸品	132	18%
D.その他	26	4%
有効回答	721	100%
無回答など	46	
全体	767	

問19. 問18. で「いつも優先して買っている」、「同じような内容であれば優先して買っている」または「上流域の産物として重視・意識せずを買っている」を選んだ方にお尋ねします。何を買っていますか？ あてはまるものを選んでください。(複数可) n=721



<記述>

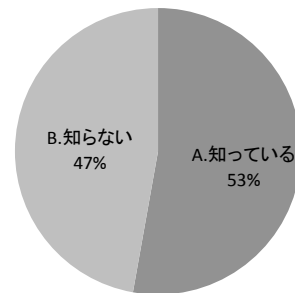
百草丸	7
薬	1
櫛	1
おひつ	1
木材	1
A→トウモロコシ、豆 B→漬物、そば C→水	1
飛騨川の交流できる野菜や木	1
山菜きのこ	1
意識せず買っているので不明	1

問 20. 私たち上流域は過疎化及び過疎化・人手不足に伴う森林荒廃により、上流域の機能及び下流域とのつながりの維持に苦慮していることをご存知ですか？

上流域の機能維持に関する困難性について、53%が「知っている」と回答。

問20. 私たち上流域は過疎化及び過疎化・人手不足に伴う森林荒廃により、上流域の機能及び下流域とのつながりの維持に苦慮していることをご存知ですか？ n=1,511

	回答数	%
A.知っている	798	53%
B.知らない	713	47%
有効回答	1,511	100%
無回答など	9	
全体	1,520	

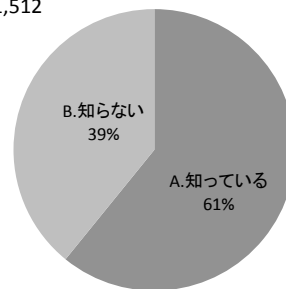


問 21. これまで適切な時期・規模で森に手を入れることにより、森が持つ様々な機能を維持してきましたが、木曾の人口減少や林業の衰退により、私たちとつながっている下流域の地域も影響を受けてしまうことをご存知ですか？

上流の衰退が下流に影響を与えることについて、61%が「知っている」と回答。

問21. これまで適切な時期・規模で森に手を入れることにより、森が持つ様々な機能を維持してきましたが、木曾の人口減少や林業の衰退により、私たちとつながっている下流域の地域も影響を受けてしまうことをご存知ですか？ n=1,512

	回答数	%
A.知っている	920	61%
B.知らない	592	39%
有効回答	1,512	100%
無回答など	8	
全体	1,520	

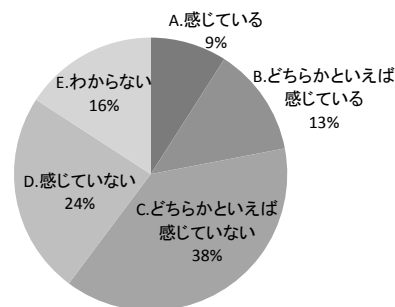


問 22. あなたはそのような上流域の問題による影響を感じていますか？あてはまるものを一つ選んでください。

上流の問題による影響を感じていない人の割合が 62%と過半数を占めている。一方で、感じている人の割合も 22%存在。

問22. あなたはそのような上流域の問題による影響を感じていますか？あてはまるものを一つ選んでください。n=1,496

	回答数	%
A.感じている	145	9%
B.どちらかといえば感じている	192	13%
C.どちらかといえば感じていない	568	38%
D.感じていない	356	24%
E.わからない	235	16%
有効回答	1,496	100%
無回答など	24	
全体	1,520	



問 23. 問 22. で「A」または「B」を選んだ方にお尋ねします。どのような影響を感じましたか？以下の記入欄に記入してください。

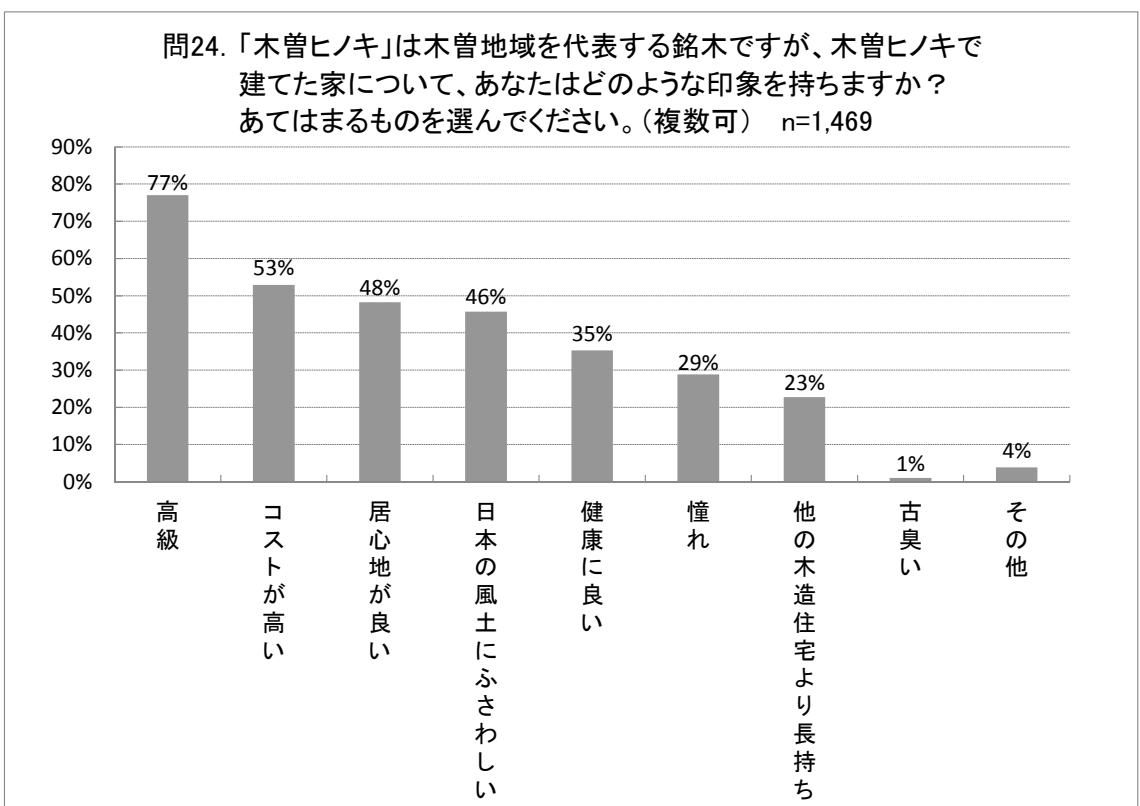
<記述>

香りがよい、木の香りがしそうなど 18件
木のおいが日本的
ヒノキのおいに癒されそう
環境に良さそう
温故知新(ひと言でいえば)
立派
ハウスダストの少ない家
お金さえあれば、木曾のヒノキで家を建てたい
風呂に最適、木色が美しい
超高級品でご縁がなさそう
手が出せない
持続可能なものか疑問
地震に耐えられるか不安
手入れをうまくしないと、朽ちやすそう
木造住宅に興味がない
住宅密集地に住んでいるので、地震・火災の心配から鉄の家に住んでいる
専門に扱う建築屋情報が乏しい
風呂
別荘
神聖な神社用
家と言うより旅館
建材(木材)に詳しくないので、印象の持ちようがない
印象がない
特に違いはない
比較対象がないため、何とも言えない
メリットが分からない
わからない、考えたことがないなど 9件
特に無いなど 3件

問 24. 「木曽ヒノキ」は木曽地域を代表する銘木ですが、木曽ヒノキで建てた家について、あなたはどのような印象を持ちますか？あてはまるものを選んでください。（複数可）

木曽ヒノキで建てた家について、「高級」(77%)、「コストが高い」(53%)という印象が上位に来ている。記述コメントでも「手が出せない」「ご縁がなさそう」といった回答がみられる。  
 その他、「居心地が良い」(48%)、「日本の風土にふさわしい」(46%)と、好意的な印象を持たれている。

	回答数	%
高級	1132	77%
コストが高い	777	53%
居心地が良い	709	48%
日本の風土にふさわしい	672	46%
健康に良い	519	35%
憧れ	424	29%
他の木造住宅より長持ち	334	23%
古臭い	15	1%
その他	57	4%
有効回答	1,469	100%
無回答など	51	
全体	1,520	

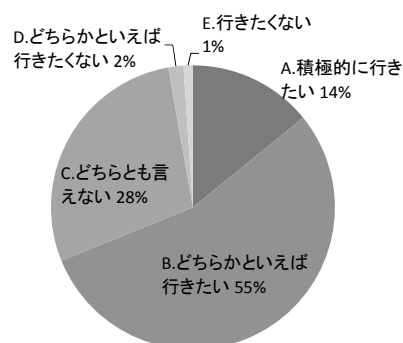


問 25. あなたは今後木曾に（また）観光に行きたいと思いますか？あてはまるものを一つ選んでください。

木曾への観光に行きたい人の割合は 69%。しかしその中で「積極的にいきたい」人の割合は 14%と多くはない。  
 「どちらかといえばいきたい」「どちらとも言えない」合わせて 83%であり、これは消極的賛同・態度保留層が大半であるとみることもできる。

問25. あなたは今後木曾に（また）観光に行きたいと思いますか？あてはまるものを一つ選んでください。 n=1,506

	回答数	%
A.積極的にいきたい	213	14%
B.どちらかといえばいきたい	824	55%
C.どちらとも言えない	427	28%
D.どちらかといえば行きたくない	26	2%
E.行きたくない	16	1%
有効回答	1,506	100%
無回答など	14	
全体	1,520	

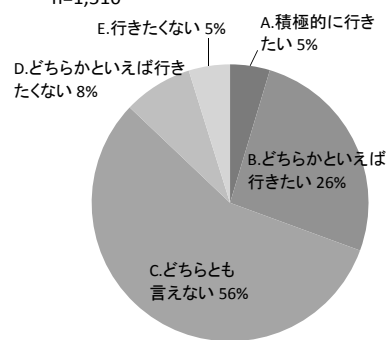


問 26. あなたは今後木曾への貢献活動（ボランティア活動、交流イベントなど）に参加したいと思いますか？あてはまるものを一つ選んでください。

木曾への貢献活動に行きたい人の割合は 31%。中でも「積極的にいきたい」人の割合は 5%と多くはない。

問26. あなたは今後木曾への貢献活動（ボランティア活動、交流イベントなど）に参加したいと思いますか？あてはまるものを一つ選んでください。 n=1,510

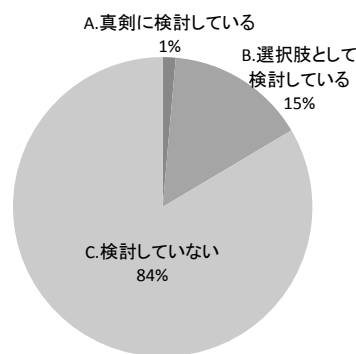
	回答数	%
A.積極的にいきたい	70	5%
B.どちらかといえばいきたい	392	26%
C.どちらとも言えない	853	56%
D.どちらかといえば行きたくない	122	8%
E.行きたくない	73	5%
有効回答	1,510	100%
無回答など	10	
全体	1,520	



問 27. あなたは将来地方への長期滞在や IU ターンについて検討していますか？あてはまるものを一つ選んでください。

将来の長期滞在、IU ターンについて、検討している人の割合は 16%。

問27. あなたは将来地方への長期滞在やIUターンについて検討していますか？あてはまるものを一つ選んでください。 n=1,503



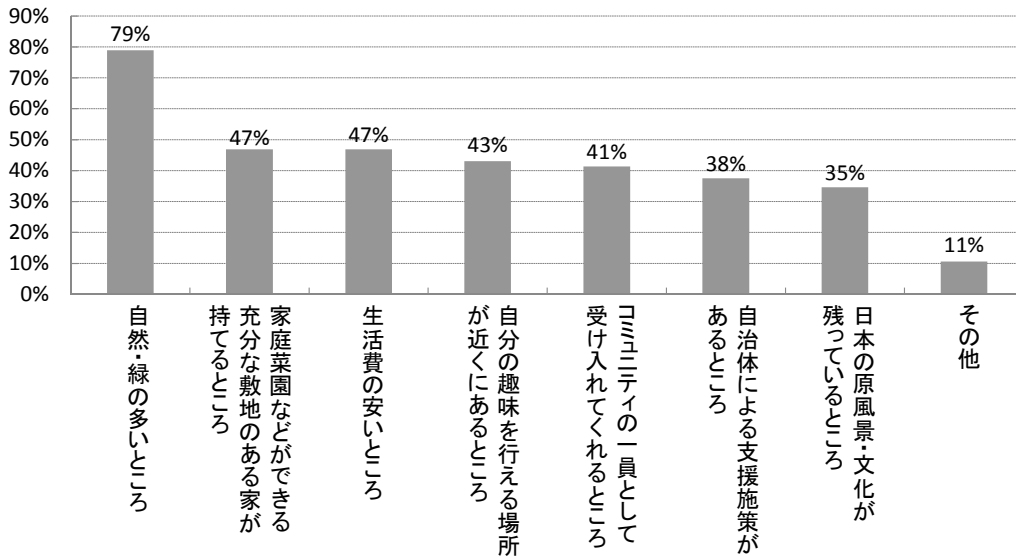
	回答数	%
A. 真剣に検討している	21	1%
B. 選択肢として検討している	228	15%
C. 検討していない	1254	84%
有効回答	1,503	100%
無回答など	17	
全体	1,520	

問 28. 問 27. で「真剣に検討している」または「選択肢として検討している」を選んだ方にお尋ねします。将来長期滞在あるいは IU ターンのために必要と思うものを選んでください。(複数可)

将来の長期滞在、IU ターン検討者を対象に必要なものをお尋ねしたところ、最も高いのは「自然・緑の多いところ」(79%)であり、**自然が必須条件となる**。  
 また「十分な敷地のある家が持てる場所」、「生活費の安いところ」(いずれも 47%)、「趣味を行える場所に近い」(43%)、「コミュニティの一員として受け入れてくれる」(41%)が半数近くを占めるニーズ。  
 記述コメントでは、**自然・緑を求めつつも、医療、交通、生活利便施設などの、利便さを求める声も示されている。**

	回答数	%
自然・緑の多いところ	187	79%
家庭菜園などができる十分な敷地のある家が持てる場所	111	47%
生活費の安いところ	111	47%
自分の趣味を行える場所が近くにあるところ	102	43%
コミュニティの一員として受け入れてくれるところ	98	41%
自治体による支援施策があるところ	89	38%
日本の原風景・文化が残っているところ	82	35%
その他	25	11%
有効回答	237	100%
無回答など	12	
全体	249	

問28. 問27. で「真剣に検討している」または「選択肢として検討している」を選んだ方にお尋ねします。将来長期滞在あるいはIUターンのために必要と思うものを選んでください。(複数可) n=237



<記述>

■医療

医療の充実など 4件
医療施設が充実している、買い物難民の不安が無い
医療施設、介護施設

■交通

比較的市街地に出やすい立地
交通手段の良さなど 3件

■生活・利便性

生活用品の調達に困らないところ、飯田市のようなところが理想(店が近い)
生活資源が最低限あること
ある程度便利なこと
治安が充実していること、自治体等が正しく機能していること(不正・天下り等)
インターネットに接続できる
子供の教育に不便のないところ(十分に教育できる場所)
自然災害に強いところ

■仕事

仕事がしたい(死ぬまで)
就職先

■自然環境

川・海・湖の近く
海に近い
気候

■その他

実家があるなど 4件
配偶者の希望

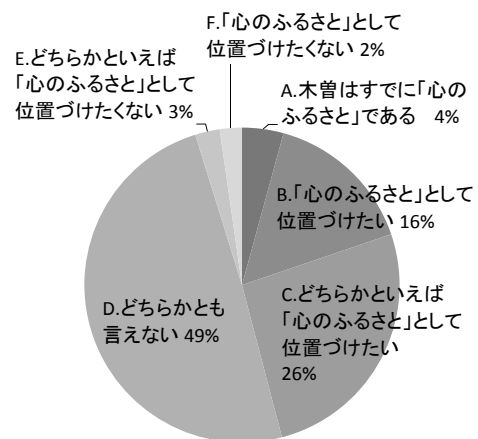
【ニーズ編】

問1. 木曾の振興・活性化のためには上下流域交流が不可欠です。また、下流域が抱える課題に対して上流域が貢献できることも少なくないはずで  
 す。そこで、皆様の住む（働く）地域の上流域に位置する木曾が「心の  
 ふるさと」となり、上下流の交流・互恵関係を作っていきたいと考えて  
 います。木曾を「心のふるさと」として位置づけることについてどう考  
 えますか？あてはまるものを一つ選んでください。

上下流域が互恵関係をつくっていくにあたり、下流域にとって木曾を「心のふるさと」として位置づけることについて、**前向きな回答(ABC)が46%と半数近くを占めている。**  
 「心のふるさと」という唐突かつ概念的な提案であるが、比較的好意的に受け取る人が少なくなかったといえる。

問1. 木曾を「心のふるさと」として位置づけること  
 についてどう考えますか？あてはまるもの  
 を一つ選んでください。 n=1,503

	回答数	%
A.木曾はすでに「心のふるさと」である	64	4%
B.「心のふるさと」として位置づけたい	233	16%
C.どちらかといえば「心のふるさと」として位置づけたい	393	26%
D.どちらかとも言えない	741	49%
E.どちらかといえば「心のふるさと」として位置づけたくない	38	3%
F.「心のふるさと」として位置づけたくない	34	2%
有効回答	1,503	100%
無回答など	17	
全体	1,520	





問 2. 1. 各テーマに共通する以下の価値群の中であなたが最も重視する価値を 3 つ選び、最も重視するものから 1～3 の順に選んでください。

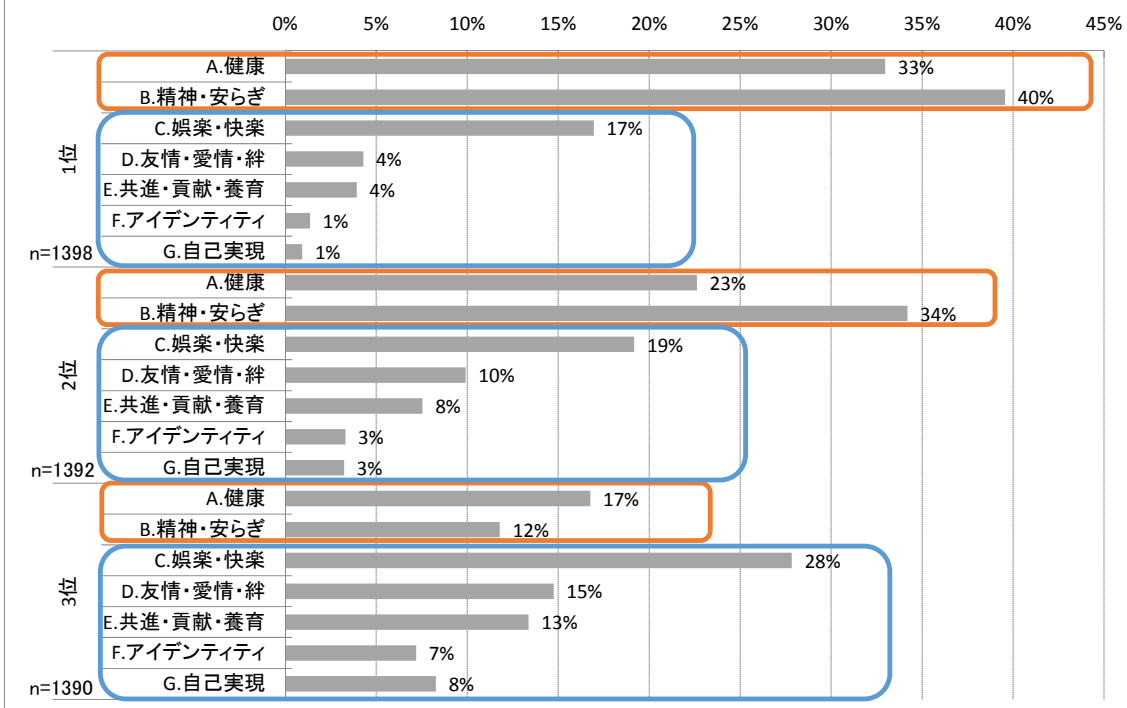
回答者が重視する価値を 1 位から 3 位まで 3 つ選択しているが、1 位と 2 位の価値ベスト 3 は共に同じで、「精神・安らぎ」「健康」「娯楽・快楽」の順番である。この組み合わせが 3 位では異なり、「娯楽・快楽」「健康」「友情・愛情・絆」となっている。

「精神・安らぎ」と「健康」の項目のみが、1 位の割合が最大、3 位の割合が最小の傾向を示しており、その他項目は逆の傾向を示している。

まず重視するのは心身の安定・安らぎであり、その上で適度な刺激やコミュニケーションを求めるといった流れが想像される。

		回答数	%
1位	A.健康	461	33%
	B.精神・安らぎ	553	40%
	C.娯楽・快楽	237	17%
	D.友情・愛情・絆	60	4%
	E.共進・貢献・養育	55	4%
	F.アイデンティティ	19	1%
	G.自己実現	13	1%
	有効回答	1398	100%
	無回答など	122	
2位	A.健康	315	23%
	B.精神・安らぎ	476	34%
	C.娯楽・快楽	267	19%
	D.友情・愛情・絆	138	10%
	E.共進・貢献・養育	105	8%
	F.アイデンティティ	46	3%
	G.自己実現	45	3%
	有効回答	1392	100%
	無回答など	128	
3位	A.健康	233	17%
	B.精神・安らぎ	164	12%
	C.娯楽・快楽	387	28%
	D.友情・愛情・絆	205	15%
	E.共進・貢献・養育	186	13%
	F.アイデンティティ	100	7%
	G.自己実現	115	8%
	有効回答	1390	100%
	無回答など	130	
全体	1,520		

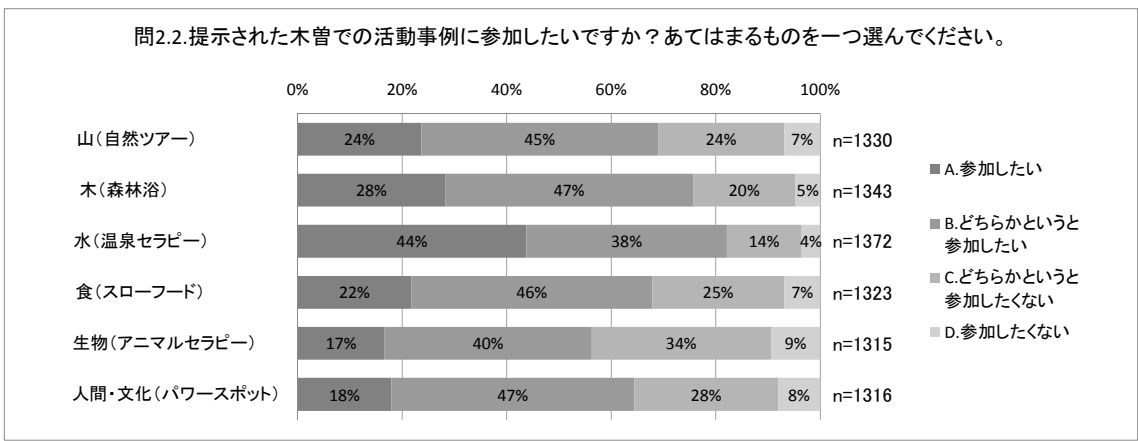
問2.1.各テーマに共通する以下の価値群の中であなたが最も重視する価値を3つ  
 選び、最も重視するものから1~3の順に選んでください。



問 2.2. 提示された木曾での活動事例に参加したいですか？あてはまるものを一つ選んでください。

人気の高い活動テーマとして、「水（温泉セラピー）」が他を引き離している（「参加したい」が 44%）。次いで、「木（森林浴）」（28%）、「山（自然ツアー）」（24%）、「食（スローフード）」（22%）。

		回答数	%
山(自然ツアー)	A.参加したい	315	24%
	B.どちらかというに参加したい	603	45%
	C.どちらかというに参加したくない	320	24%
	D.参加したくない	92	7%
	有効回答	1330	100%
	無回答など	190	
木(森林浴)	A.参加したい	380	28%
	B.どちらかというに参加したい	636	47%
	C.どちらかというに参加したくない	264	20%
	D.参加したくない	63	5%
	有効回答	1343	100%
	無回答など	177	
水(温泉セラピー)	A.参加したい	601	44%
	B.どちらかというに参加したい	526	38%
	C.どちらかというに参加したくない	196	14%
	D.参加したくない	49	4%
	有効回答	1372	100%
	無回答など	148	
食(スローフード)	A.参加したい	288	22%
	B.どちらかというに参加したい	610	46%
	C.どちらかというに参加したくない	334	25%
	D.参加したくない	91	7%
	有効回答	1323	100%
	無回答など	197	
生物(アニマルセラピー)	A.参加したい	219	17%
	B.どちらかというに参加したい	521	40%
	C.どちらかというに参加したくない	451	34%
	D.参加したくない	124	9%
	有効回答	1315	100%
	無回答など	206	
人間・文化(パワースポット)	A.参加したい	236	18%
	B.どちらかというに参加したい	612	47%
	C.どちらかというに参加したくない	362	28%
	D.参加したくない	106	8%
	有効回答	1316	100%
	無回答など	204	
全体		1,520	



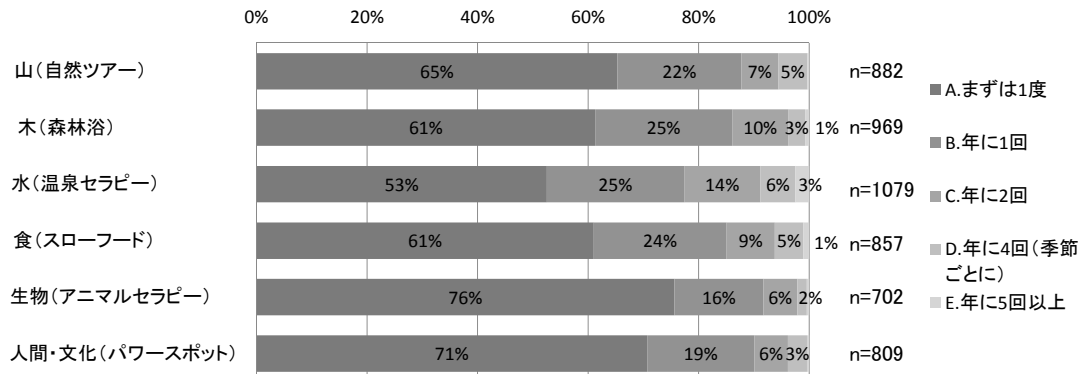
問 2.3. 問 2.2 で「参加したい」または「どちらかというに参加したい」を選んだ活動事例についてお尋ねします。各テーマにおいて最も有力と感じたキーワードを書いてください。(提示にないキーワードでも可)

また、活動に継続的に参加することで元気になるメリットなどを考慮し、どのぐらいの頻度で参加したいですか？あてはまるものを一つ選んでください。

年に2回以上の複数回参加する意向を示した割合は、「水(温泉セラピー)」(23%)が最も高く、次いで「食(スローフード)」(15%)、「木(森林浴)」(14%)、「山(自然ツアー)」(12%)。人気の高い活動ほど、複数回参加意向割合が高い傾向となっている。

		回答数	%
山(自然ツアー)	A.まずは1度	576	65%
	B.年に1回	198	22%
	C.年に2回	59	7%
	D.年に4回(季節ごとに)	46	5%
	E.年に5回以上	3	0%
	有効回答	882	100%
	無回答など	36	
	全体	918	
木(森林浴)	A.まずは1度	594	61%
	B.年に1回	240	25%
	C.年に2回	99	10%
	D.年に4回(季節ごとに)	29	3%
	E.年に5回以上	7	1%
	有効回答	969	100%
	無回答など	47	
	全体	1016	
水(温泉セラピー)	A.まずは1度	567	53%
	B.年に1回	268	25%
	C.年に2回	149	14%
	D.年に4回(季節ごとに)	68	6%
	E.年に5回以上	27	3%
	有効回答	1079	100%
	無回答など	48	
	全体	1127	
食(スローフード)	A.まずは1度	523	61%
	B.年に1回	206	24%
	C.年に2回	75	9%
	D.年に4回(季節ごとに)	44	5%
	E.年に5回以上	9	1%
	有効回答	857	100%
	無回答など	42	
	全体	898	
生物(アニマルセラピー)	A.まずは1度	531	76%
	B.年に1回	113	16%
	C.年に2回	43	6%
	D.年に4回(季節ごとに)	12	2%
	E.年に5回以上	3	0%
	有効回答	702	100%
	無回答など	38	
	全体	740	
人間・文化(パワースポット)	A.まずは1度	572	71%
	B.年に1回	157	19%
	C.年に2回	49	6%
	D.年に4回(季節ごとに)	28	3%
	E.年に5回以上	3	0%
	有効回答	809	100%
	無回答など	39	
	全体	848	

問2.3. 問2.2で「参加したい」または「どちらかというに参加したい」を選んだ活動事例についてお尋ねします。各テーマにおいて最も有力と感じたキーワードを書いてください。(提示にないキーワードでも可)また、活動に継続的に参加することで元気になるメリットなどを考慮し、どのぐらいの頻度で参加したいですか？あてはまるものを一つ選んでください。



問 2.4 問 2.2 で「どちらかというとなら参加したくない」または「参加したくない」を選んだ活動事例についてお尋ねします。参加したくない原因を選んでください。(複数可)

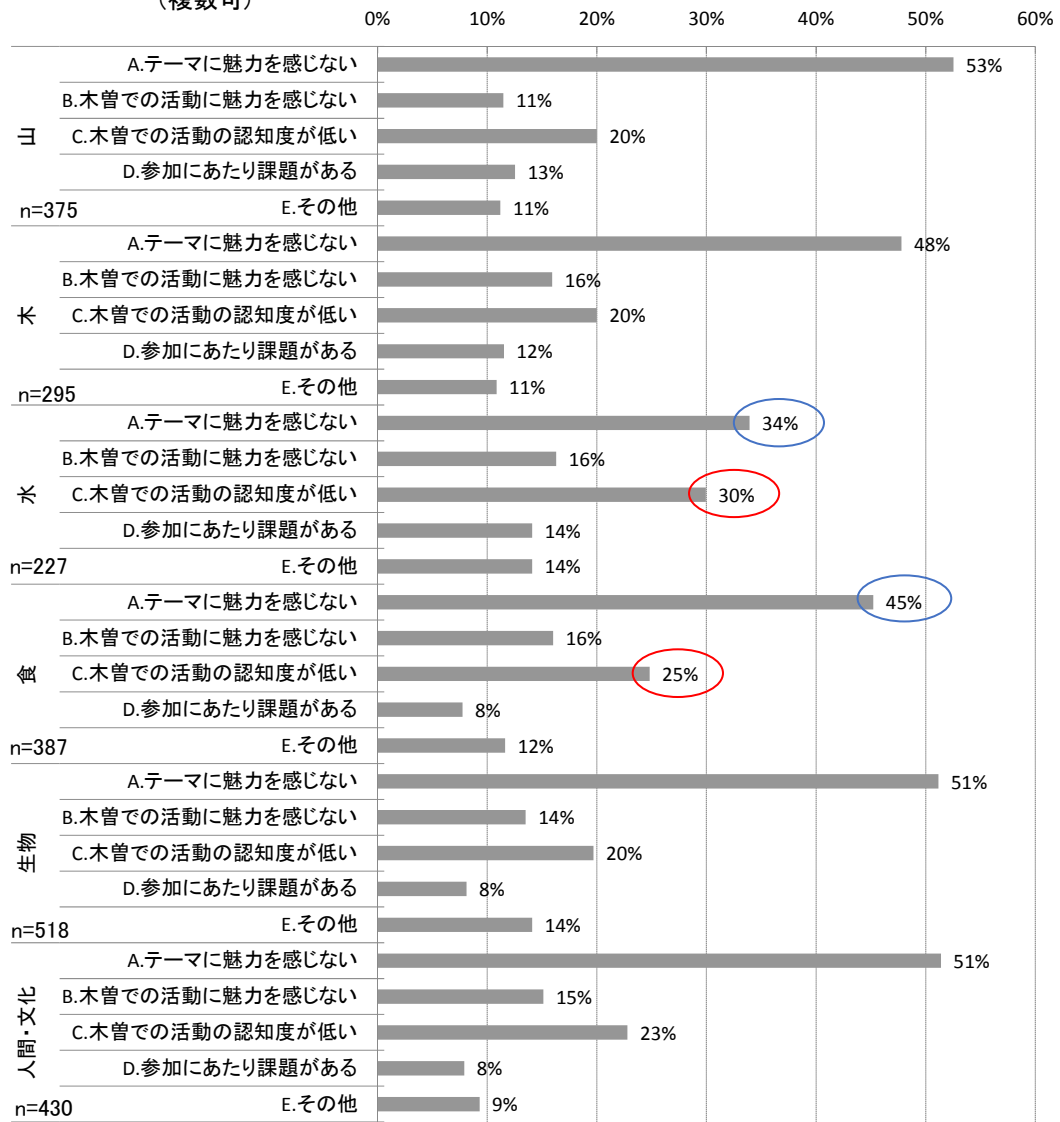
参加したくない原因について、全ての活動テーマに関して「テーマに魅力を感じない」が半数を占め、最大の理由となっている。テーマそのものに魅力を感じない層に木曾の魅力を伝えることは難しいと考えられる。

一方で、「水(温泉セラピー)」は「魅力を感じない」が 34%で他の活動よりも 10 ポイント以上、「食(スローフード)」は 45%で 5 ポイント以上低くなっており、水、食といったテーマそのものには魅力を感じているものの、木曾での活動に関して問題があると感じているものと考えられる。

木曾での活動に関する問題として、「木曾での活動に魅力を感じない」の割合は活動テーマ共通に 15%前後で大きな違いは見られない。一方で、「木曾での活動の認知度が低い」が水で 30%、食で 25%と他テーマより高くなっていることから、水・食といった活動テーマに参加する場所として木曾の認知度が低く、活動の選択肢に入っていない可能性がある。

		回答数	%
山	A.テーマに魅力を感じない	197	53%
	B.木曾での活動に魅力を感じない	43	11%
	C.木曾での活動の認知度が低い	75	20%
	D.参加にあたり課題がある	47	13%
	E.その他	42	11%
	有効回答	375	100%
	無回答など	37	
	全体	412	
木	A.テーマに魅力を感じない	141	48%
	B.木曾での活動に魅力を感じない	47	16%
	C.木曾での活動の認知度が低い	59	20%
	D.参加にあたり課題がある	34	12%
	E.その他	32	11%
	有効回答	295	100%
	無回答など	32	
	全体	327	
水	A.テーマに魅力を感じない	77	34%
	B.木曾での活動に魅力を感じない	37	16%
	C.木曾での活動の認知度が低い	68	30%
	D.参加にあたり課題がある	32	14%
	E.その他	32	14%
	有効回答	227	100%
	無回答など	18	
	全体	245	
食	A.テーマに魅力を感じない	175	45%
	B.木曾での活動に魅力を感じない	62	16%
	C.木曾での活動の認知度が低い	96	25%
	D.参加にあたり課題がある	30	8%
	E.その他	45	12%
	有効回答	387	100%
	無回答など	38	
	全体	425	
生物	A.テーマに魅力を感じない	265	51%
	B.木曾での活動に魅力を感じない	70	14%
	C.木曾での活動の認知度が低い	102	20%
	D.参加にあたり課題がある	42	8%
	E.その他	73	14%
	有効回答	518	100%
	無回答など	57	
	全体	575	
人間・文化	A.テーマに魅力を感じない	221	51%
	B.木曾での活動に魅力を感じない	65	15%
	C.木曾での活動の認知度が低い	98	23%
	D.参加にあたり課題がある	34	8%
	E.その他	40	9%
	有効回答	430	100%
	無回答など	38	
	全体	468	

問2.4. 問2.2で「どちらかというとなら参加したくない」または「参加したくない」を選んだ活動事例についてお尋ねします。参加したくない原因を選んでください。  
(複数可)



問 2.5. 木曽での交流活動や観光に向けての心配な面として、あてはまるものを選んでください。(複数可)

木曽での交流活動・観光に向けての心配点としては、「自家用車がないと移動が不便」(52%)が飛びぬけて高い。次いで、「木曽の魅力を伝えるまとまった情報がない」(33%)、「生活利便施設が近くにない」(21%)、「ピーク期間の混雑・施設不足が気にかかる」(20%)。

	回答数	%
自家用車がないと移動が不便である	795	52%
木曽の魅力を伝えるまとまった情報がない	502	33%
スーパーや病院といった生活利便施設が近くにない	316	21%
ピーク期間の混雑・施設不足が気にかかる	303	20%
施設の閉店が早い	234	15%
旅館などの施設の室内に虫がいることがある	215	14%
温泉やトイレなどの衛生環境が悪い	189	12%
地元の人とのコミュニケーションが難しい	185	12%
インターネット・通信環境が悪い	181	12%
宿泊施設の快適性が悪い(室温、アメニティなど)	120	8%
料金が高い	109	7%
写真・説明文と実物の差が大きい	63	4%
他の観光客・利用者のマナー・利用心得が悪い	56	4%
観光施設の接客態度・サービスの質が悪い	21	1%
その他	133	9%
全体	1,520	100%

